

宮澤亮一郎 みやざわ せいいちろう 翻譯家、兒童文學者。明治十五年九月十六日鹿兒島縣生れ、昭和二十年六月十日歿（八八—一九五〇）。本名知久。父の任地札幌で育つ。新聞記者等諸職を経、大正七年雜誌『中央公論』の創作を、のち『赤い鳥』の童話を發表。また獨學で外國語を修め翻譯に従事。

譯書『トルストイ全集』（註譯、第二卷・大正八年一月—二十五日、第四卷・二月二十日、第八卷・六月二十日、第十一卷・十月十八日、第十二卷・十一月二十一日春秋社）、ゲルハルト・ハウプトマン作『織匠』（大正九年二月十一日叢文閣『労働文藝叢書』）、ツウルゲーンエフ著『講演論文及び書翰』（大正九年十二月十五日社翁全集刊行會『社翁記念文庫』）、マツジニイ著『信仰と未來』（大正十年七月十日社翁全集刊行會『社翁記念文庫』）、クヌウト・ハムスン作『飢ゑ』（大正十年九月十六日新潮社『泰西最新文藝叢書』、再刊・昭和十二年二月十五日『新潮文庫』）、ブランデス著『黎明期の思想家』（四版・大正十一年二月二十八日社翁全集刊行會『社翁記念文庫』、再刊・昭和十七年一月二十日春秋社松崎館『春秋社思想選書』）、ヤンデハセン作『即興詩人』（大正十二年七月二十日金屋堂『全譯名著叢書』、再刊・昭和二十四年六月二十日叢徳社）、クヌウト・ハムスン作『愛の物語』（大正十二年十月十二日新潮社『海外文藝新選』）、



ラビンドラ・ナート・タゴール作『運命の舟』（大正十四年四月十五日第一出版協會）、ツウルゲーンエフ著『文學的回想』（大正十五年六月十五日聚英）
『ビュムスン』作『北歐二人集』（生）
『ビュムスン』作『北歐二人集』（生）
『ビュムスン』作『北歐二人集』（生）

『海外文藝新選』、『海外文藝新選』、『海外文藝新選』

- 田春月共譯、昭和二年九月十五日新潮社「世界文學全集」(一)、ヨハン
 ・ボージェル作「嘘の力・人生・世界の顔」(昭和六年二月十日新潮社
 ・第一二期「世界文學全集」)、同「嘘の力」(昭和十四年二月二十日
 新潮社「新潮文庫」)、サツペル作「愛の一家」(昭和十四年四月三
 日中央公論社)、同「北歐近代短篇集」(昭和十四年六月二十日白水
 社)、ケヌウト・ハムスン作「上の恵女(上巻)」(昭和十四年八月
 二十日ニ書書房。限定版五百部非賣品)、F・E・シツラン「アヤ作
 『ことやめなる天性(ふたりの母)』(一)鶴田知也共譯、昭和十五年五
 月十八日今日の問題社「ノーブル」覺文學叢書」(一)、ヨハン・ボージェル
 作「大飢餓」(昭和十五年八月二日中央公論社「現代世界文學叢書」)、
 ヤミチーヌ作「愛の學校」全二冊(上巻・昭和十五年九月十五日、下
 巻・十六年七月五日新潮社「新潮文庫」)、ロバート・スチーヴンス
 ン作「雲天物語」(昭和十五年十月十日童話春秋社「世界名作物語」)、
 サツペル作「續・愛の一家」(昭和十五年十一月二十一日中央公論社)、
 ビヨルンステルネ・ビヨルンソン(ポイントピダグ
 女) (由田止)共譯、昭和十五年十一月二十一日今日の問題社「ノー
 ブル」覺文學叢書」(一)、ヤクセルソン作「ホネバ文流の小船長」(昭和十
 六年一月二十九日主婦之友社「世界名作家家庭文庫」)、サツペル作
 「一年生物話」(昭和十六年十一月二十一日中央公論社)、マトリン
 ドジョーリ作「青書」(昭和十八年四月十八日白月書院)、ハムスン作
 「上の恵女」全二冊(第一巻・昭和十八年六月十日、第二巻・九月一
 十一日、第三巻・十九年九月十八日新潮社「新潮文庫」)、ヤミチー
 ス作「愛の學校(下巻)」全一冊(上巻・昭和二十年二月十五日、

下巻。二十日新潮社「新潮文庫」等。

著書 可世屋文學講座・11「北歐文學篇」(今春、昭和五年八月十二日)

新潮社)、可世屋の散策』(昭和十八年二月)二十日生活社「生活選

書」等。